

令和2年3月19日

八尾市議会議長

越智妙子様

総務常任委員長

田中裕子

### 総務常任委員会 所管事務調査報告書

本委員会は去る令和元年6月27日の委員会において、所管事務調査事項を議決した。その後、調査テーマを「芸術・文化振興について」、「共生社会への取り組みについて（外国人市民・LGBT）」及び「自主防災組織の現状について」に決定し、調査を開始した。このたび、本テーマについて委員会として取りまとめを行ったため、最終報告を行う。

調査の概要については、下記のとおりである。

#### 1 調査日

##### (1) 総務常任委員会

令和元年10月24日 執行部からの現状等の説明、質疑

令和2年3月19日 執行部からの現状等の説明、質疑

##### (2) 総務常任委員協議会

令和元年6月27日 協議

令和元年9月19日 協議

令和2年3月19日 協議、報告書の確認

##### (3) 視察調査

令和元年10月29日 東京都国立市

令和元年10月30日 東京都渋谷区

#### 2 調査概要

##### (1) 「芸術・文化振興について」

芸術・文化振興については、市民が心豊かに暮らすことができる文化的な町を創造していくために必要なものである。国においても、「文化芸術振興基本法」を改正し、「文化芸術基本法」に改め、芸術・文化の振興に積極的な姿勢を示している。

現在、本市は第2次八尾市芸術文化振興プランを推進し、芸術・文化に親しむ機会を提供している中、現状を確認し、今後の取り組みについて調査を行った。

調査に当たり、執行部から資料の提出並びに説明を受け、本市の現状と課題を確認した。また、先進市の取り組みについて調査を行うため、東京都国立市の視察調査を実施した。

(2) 「共生社会への取り組みについて（外国人市民・LGBT）」

本市には、約7600人の外国人市民が居住（大阪府下第4位）しており、多文化共生の取り組みは、必要不可欠である。本市は、多文化共生推進計画に基づき様々な取り組みを進めている中、現状を確認し、今後の取り組みについて調査を行った。

また、LGBT等、性的マイノリティーに対する差別や偏見に苦しむ人々がおられる。本市は、人権教育・啓発プランに基づき、様々な取り組みを進めている中で、全ての人が自分らしく生活することができるよう、本市の現状の取り組みについて調査を行った。

調査に当たり、執行部から資料の提出並びに説明を受け、本市の現状と課題を確認した。また、先進市の取り組みについて調査を行うため、東京都国立市、東京都渋谷区の視察調査を実施した。

(3) 「自主防災組織の現状について」

自主防災組織は地域の防災力を高めるために、地域の人々が主体的に防災活動を行う組織であり、市内でも600以上の町会で結成されている。例年のように大規模な自然災害が発生しており、今後、その役割は、これまで以上に重要となってくる中で、調査に当たり、執行部から資料の提出並びに説明を受け、本市の現状と課題を確認した。

3 委員会で一致した意見

調査テーマについて、委員会として以下のとおり執行部に求める。

(1) 「芸術・文化振興について」

ア 芸術文化振興プラン推進市民会議での意見を生かした施策の展開や次期プランの策定に努めること。

イ 幅広い世代が芸術・文化に親しむことができる取り組みを進めること。

ウ 全ての市民が安価で芸術・文化を親しむことができる取り組みを検討すること。

エ さらに芸術・文化を振興するため条例制定等を踏まえた次期プランの策定に努めること。

(2) 「共生社会への取り組みについて（外国人市民・LGBT）」

ア 外国人市民会議の意見を盛り込んだうえで次期プランの策定に努めること。

イ 外国人市民だけではなく、一人一人の市民に多文化共生の必要性を認識してもらう取り組みを進めること。

ウ 今まで以上に、外国人市民への相談体制の充実・強化に取り組むこと。

エ LGBT等に対する市民理解をより一層深めるために、積極的な啓発を進めること。

オ 教育委員会と連携し、LGBT等に対する正しい知識と理解を子供たちに伝えていくこと。

カ 市民のみならず、中小企業を初め事業者等へもLGBT等に対する周知や啓発を進めること。

キ 大阪府のパートナーシップ宣誓証明制度に基づき、1日でも早く積極的な施策を展開すること。